

【0112a】セツキシマブ+FOLFIRI 療法

※初回は「大腸 12a セツキシマブ+FOLFIRI 療法【初回】」を使用してください

【投与スケジュール】1 コース=14日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
セツキシマブ	アービタックス	Cmab	(初回 400mg/m ²) 2 回目以降 250mg/m ²	↓ Day1	↓ Day8
イリノテカン	イリノテカン	CPT-11、IRI	150mg/m ²	↓ Day1	
レボホリナートカルシウム	レボホリナート	I-LV	200mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400mg/m ²	↓ Day1	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ
②	ネオレスタール注 10mg	1 本	30 分
	デカドロン 3.3mg/1mL	3 本	
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	
③	アービタックス	250mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
④	生理食塩液 100mL	1 本	60 分
⑤	レボホリナート	200mg/m ²	(同時に) 2 時間
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑤	イリノテカン	150mg/m ²	
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑥	フルオロウラシル	400mg/m ²	
	生理食塩液 50mL	1 本	
⑦	フルオロウラシル	2400mg/m ²	46 時間
	生理食塩液 500mL	1 本(※)	
⑧	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day8			
①	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ
②	ネオレスタール注 10mg	1本	15分
	デカドロン 3.3mg	1本	
	生理食塩液 50mL	1本	
③	アービタックス	250mg/m ²	60分
	生理食塩液 250mL	1本	
④	生理食塩液 100mL	1本	60分
⑤	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ

催吐性	中等度リスク
組織傷害性	アービタックス: 非炎症性 イリノテカン: 炎症性 フルオロウラシル: 炎症性
代表的副作用	アービタックス >10%・・・皮疹、皮膚乾燥、掻痒、爪囲炎、口内炎、疲労、食欲不振、低 Mg 血症、 Infusion Reaction イリノテカン >10%・・・骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%・・・間質性肺炎 フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

- レボホリナートとイリノテカンは同時に滴下する
- フラッシュ用生食注シリンジは無い場合もあります

(アービタックス)

- RAS 遺伝子野生型を確認すること
- infusion reaction を軽減させるため、投与前に抗ヒスタミン剤の前投薬を行うこと。さらに投与前に副腎皮質ホルモン剤を投与すると infusion reaction が軽減することがある
- 投与量と速度: 初回は 400mg/m² を 2 時間かけて、2 回目以降は 250mg/m² を 1 時間かけて点滴投与する(10mg/分以下)
- 終了後はラインを生理食塩液でフラッシュすること
- 投与中は毎回患者の状態に十分に注意し、投与後は1時間の観察期間を設けること

(イリノテカン)

- UGT1A1 遺伝子多型検査時には、院内規定の説明文書・同意書を使用する